令和元年度名古屋市教育委員会第52号議案

名古屋市教育センター処務規則の一部を改正する規則案について

1 改正理由・内容

- (1) 1人1台の学習者用タブレットの導入に向けた調査・検討等のため、主査（個別最適化された学びに係るICT環境整備の推進）を学校情報化支援部に設置し、併せて情報教育等に関する研修事務の所管を研修部から学校情報化支援部に変更します。
- (2) 原則勤務職員（午前8時45分から7時間45分の勤務、週休日は土日を原則とする職員）のうち、子の養育、要介護者の介護等の事由に該当する職員については、早出遅出勤務が可能となったため、早出遅出勤務を行う職員の休憩時間の時限を定めます。
- (3) 地方公務員法（昭和25年法律第261号）の改正に伴い、再任用短時間勤務職員が導入されることとなりました。職員の勤務時間及び休暇に関する条例施行規則（昭和26年名古屋市人事委員会規則第11号）において、当該職員の勤務時間等の原則が定められていますが、業務の性質上原則によることのできない者の勤務時間の特例等を定めるため、規定の整備を行います。

2 施行期日

令和2年4月1日から施行します。

3 規則案・新旧対照

別紙のとおり

(案)

名古屋市教育センター処務規則の一部を改正する規則をここに公布する。

令和2年3月 日

名古屋市教育委員会教育長 鈴木 誠 二

名古屋市教育委員会規則第 号

名古屋市教育センター処務規則の一部を改正する規則

名古屋市教育センター処務規則（昭和56年名古屋市教育委員会規則第15号）の一部を次のように改正する。

第2条第1項中 「学校情報化支援部
事務係」 を 「学校情報化支援部
事務係」 に改め、同条
主査(1)」

第2項研修部の項第1号中「研究調査部」の次に「、学校情報化支援部」を加え、同項学校情報化支援部の項中第3号を第4号とし、第2号の次に次の1号を加える。

(3) 情報教育等に関する研修の実施に関すること。

第2条第2項学校情報化支援部の項に次のように加える。

主査（個別最適化された学びに係るICT環境整備の推進）

(1) 個別最適化された学びに係るICT環境整備の推進に関すること。

第3条の2第1項を次のように改める。

業務の性質上、職員の勤務時間及び休暇に関する条例（昭和26年名古屋市条例第48号）第2条第3項、第3条又は第4条第1項及び職員の勤務時間及び休暇に関する条例施行規則（昭和26年名古屋市人事委員会規則第11号。以下「規則」という。）第1条第1項から第4項までの規定によることができない再任用短時間勤務職員（地方公務員法（昭和25年法律第261号）第28条の5第1項に規定する短時間勤務の職を占める者をいう。以下同じ。）の範囲並びにその者の勤務時間の割振り、休憩時間及び週休日並びに休憩時間の時限は、別表第1のとおりとする。

第3条の2第2項を削り、同条第3項中「前2項に規定する職員以外の」を「規則第1条第2項の規定の適用を受ける」に改め、同項を同条第2項とし、同条に次の2項を加える。

- 3 規則第1条第3項の規定の適用を受ける職員の休憩時間の時限は、別表第2に掲げる勤務時間の割振りの区分に応じ、同表に定める休憩時間の時限とする。
- 4 規則第1条第4項の規定の適用を受ける再任用短時間勤務職員の休憩時間の時限は、その者の勤務時間の割振りが午前8時45分から午後3時30分までの場合にあつては正午から午後0時45分まで、午前9時から午後3時45分までの場合にあつては午後0時15分から午後1時までとする。

附則の次に次の2表を加える。

別表第1（第3条の2第1項関係）

職員の範囲	勤務時間の割振り	休憩時間及びその時限	週休日
センター（分館を除く。）における庶務に関する業務に従事する者	1日について午前8時45分から午後3時45分までの間において6時間とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は正午から午後1時までとする。	日曜日及び土曜日とする。
学校復帰に係る教育相談及び家庭への支援に関する主任の業務に従事する者	1日について午前9時から午後4時までの間において6時間とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は正午から午後1時までとする。	日曜日及び土曜日とする。
学校復帰に	1日について午前9時から午後4時	休憩時間は	日曜日及び土

係る教育相談及び家庭への支援に関する業務に従事する者		までの間において6時間とする。	1日について1時間とし、その時限は正午から午後1時までとする。	曜日とする。
教職員並びに幼児、児童及び生徒並びにその保護者に対する教育相談に関する主任の業務に従事する者	A	1日について午前9時から午後4時までの間において6時間とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は午後1時から午後2時までとする。	日曜日及び4週間を通じて4日とする。
	B	1日について午前10時から午後5時までの間において6時間とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は正午から午後1時までとする。	
	C	1日について午後1時から午後7時までの間において6時間とする。		
	D	1日について午前9時から午後5時までの間において7時間とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は午後1時から午後2時までとする。	
	E	1日について午前9時から午後5時までの間において7時間とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は正午から午後1時までとする。	
	F	1日について午前11時から午後7時までの間において7時間とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は正午から午後1時までとする。	
	G	1日について午前9時15分から午後0時15分までの間において3時間とする。		
教職員並びに幼児、児童及び生徒並びにその保護者に対する教育相談に関する	A	1日について午前9時から午後4時までの間において6時間とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は午後1時から午後2時までとする。	日曜日及び4週間を通じて4日とする。

業務に従事する者	B	1日について午前10時から午後5時までの間において6時間とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は正午から午後1時までとする。	
	C	1日について午後1時から午後7時までの間において6時間とする。		
	D	1日について午前9時から午後5時までの間において7時間とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は午後1時から午後2時までとする。	
	E	1日について午前9時から午後5時までの間において7時間とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は正午から午後1時までとする。	
	F	1日について午前11時から午後7時までの間において7時間とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は正午から午後1時までとする。	
	G	1日について午前9時15分から午後0時15分までの間において3時間とする。		
指導力向上を要する教員に対する指導に関する業務に従事する者		1日について午前8時30分から午後5時までの間において7時間30分とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は正午から午後1時までとする。	日曜日、月曜日及び土曜日とする。
教員免許状更新講習の企画、運営及び指導に関する主任の業務に従事する者	A	1日について午前9時30分から午後4時30分までの間において6時間とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は正午から午後1時までとする。	4週間を通じて8日とする。
	B	1日について午前8時15分から午後4時45分までの間において7時間30分とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は正午から午後1時までとする。	
	C	1日について午前9時から正午までの間において3時間とす		

		る。		
教員免許状更新講習の企画、運営及び指導に関する業務に従事する者	A	1日について午前9時30分から午後4時30分までの間において6時間とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は正午から午後1時までとする。	4週間を通じて8日とする。
	B	1日について午前8時15分から午後4時45分までの間において7時間30分とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は正午から午後1時までとする。	
	C	1日について午前9時から正午までの間において3時間とする。		
特別な支援を必要とする幼児、児童及び生徒並びにその保護者に対する教育相談及び専門的な支援に関する主任の業務に従事する者		1日について午前9時から午後4時までの間において6時間とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は正午から午後1時までとする。	日曜日及び土曜日とする。
特別な支援を必要とする幼児、児童及び生徒並びにその保護者に対する教育相談及び専門的な支援の業務に従事する者		1日について午前9時から午後4時までの間において6時間とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は正午から午後1時までとする。	日曜日及び土曜日とする。
センターにおける技術的及び専門的な管理運営に関する業務に従事する者	A	1日について午前8時45分から午後2時45分までの間において5時間とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は正午から午後1時までとする。	4週間を通じて8日とする。
	B	1日について午後0時30分から午後5時30分までの間において5時間とする。		
	C	1日について午後4時15分から午後9時15分までの間において5時間とする。		

	D	1日について午前8時45分から午後5時15分までの間において7時間30分とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は正午から午後1時までとする。	
	E	1日について午後0時45分から午後9時15分までの間において7時間30分とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は午後4時45分から午後5時45分までとする。	
	F	1日について午前8時45分から午後3時45分までの間において6時間とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は正午から午後1時までとする。	
	G	1日について午前10時から午後5時までの間において6時間とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は正午から午後1時までとする。	
名古屋市の教育資料及び教育に関わる事項の調査研究に関する業務に従事する者	A	1日について午前9時から午後4時までの間において6時間とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は正午から午後1時までとする。	日曜日及び土曜日とする。
	B	1日について午前10時から午後5時までの間において6時間とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は午後1時から午後2時までとする。	
図書の整備計画、管理及びレファレンスサービス並びに教育に関する情報の調査、収集及びデータベース作成に関する業務に従事する者	A	1日について午前9時から午後4時までの間において6時間とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は正午から午後1時までとする。	日曜日及び土曜日とする。
	B	1日について午前10時から午後5時までの間において6時間とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は午後1時から午後2時までとする。	

教師力フォローアップにおける教員に対する指導助言に関する主任の業務に従事する者	1日について午前8時30分から午後5時までの間において7時間30分とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は正午から午後1時までとする。	日曜日、土曜日及び4週間を通じて4日とする。	
教師力フォローアップにおける教員に対する指導助言に関する業務に従事する者	1日について午前8時30分から午後5時までの間において7時間30分とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は正午から午後1時までとする。	日曜日、土曜日及び4週間を通じて4日とする。	
センター（分館を除く。）における管理運営に関する業務に従事する者（主たる業務が施設の警守である者に限る。）	A	1日について午前8時15分から午後2時15分までの間において5時間とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は正午から午後1時までとする。	4週間を通じて8日とする。
	B	1日について午前8時45分から午後2時45分までの間において5時間とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は正午から午後1時までとする。	
	C	1日について午前11時15分から午後5時15分までの間において5時間とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は正午から午後1時までとする。	
	D	1日について午後1時から午後6時までの間において5時間とする。		
	E	1日について午後3時15分から午後8時15分までの間において5時間とする。		
	F	1日について午後4時15分から午後9時15分までの間において5時間とする。		
	G	1日について午前8時15分から午後4時45分までの間において7時間30分とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は午前11時45分から午後0時45分までとする。	
		1日について午前8時45分か	休憩時間は	

	H	ら午後 5 時15分までの間において 7 時間30分とする。	1 日について 1 時間とし、その時限は正午から午後 1 時までとする。	
	I	1 日について午前 9 時30分から午後 6 時までの間において 7 時間30分とする。	休憩時間は 1 日について 1 時間とし、その時限は正午から午後 1 時までとする。	
	J	1 日について午前11時45分から午後 8 時15分までの間において 7 時間30分とする。	休憩時間は 1 日について 1 時間とし、その時限は午後 4 時から午後 5 時までとする。	
	K	1 日について午後 0 時45分から午後 9 時15分までの間において 7 時間30分とする。	休憩時間は 1 日について 1 時間とし、その時限は午後 4 時から午後 5 時までとする。	
	L	1 日について午後 1 時から午後 9 時30分までの間において 7 時間30分とする。	休憩時間は 1 日について 1 時間とし、その時限は午後 4 時15分から午後 5 時15分までとする。	
	M	1 日について午前 8 時45分から午後 3 時45分までの間において 6 時間とする。	休憩時間は 1 日について 1 時間とし、その時限は正午から午後 1 時までとする。	
センター (分館に限る。)における管理運営に関する業務に従事する者	A	1 日について午前 8 時15分から午後 1 時15分までの間において 5 時間とする。		4 週間を通じて 8 日とする。
	B	1 日について午前 8 時45分から午後 1 時45分までの間において 5 時間とする。		
	C	1 日について午後 0 時40分から午後 5 時40分までの間において 5 時間とする。		
	D	1 日について午後 4 時20分から午後 9 時20分までの間において 5 時間とする。		
		1 日について午前 8 時15分か	休憩時間は	

	E	ら午後4時45分までの間において7時間30分とする。	1日について1時間とし、その時限は正午から午後1時までとする。	
	F	1日について午前8時45分から午後5時15分までの間において7時間30分とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は正午から午後1時までとする。	
	G	1日について午後0時50分から午後9時20分までの間において7時間30分とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は午後4時5分から午後5時5分までとする。	
	H	1日について午前9時から午後4時までの間において6時間とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は正午から午後1時までとする。	
	I	1日について午前10時から午後5時までの間において6時間とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は正午から午後1時までとする。	
センター（分館を除く。）における管理運営に関する業務に従事する者（主たる業務が施設の警守である者を除く。）		1日について午前8時45分から午後3時45分までの間において6時間とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は正午から午後1時までとする。	日曜日及び土曜日とする。
情報教育の推進に関する事項の検討、情報収集、調査研究、指導及び助言に関する業務に従事する者		1日について午前8時45分から午後3時45分までの間において6時間とする。	休憩時間は1日について1時間とし、その時限は正午から午後1時までとする。	日曜日及び土曜日とする。

別表第2（第3条の2第3項関係）

勤務 区分	勤務時間の割振り	休憩時間の時限
A	午前7時45分から午後4時30分まで	正午から午後1時まで
B	午前8時15分から午後5時まで	正午から午後1時まで
C	午前9時15分から午後6時まで	正午から午後1時まで
D	午前9時45分から午後6時30分まで	正午から午後1時まで
E	午前7時45分から午後4時15分まで	正午から午後0時45分まで
F	午前8時15分から午後4時45分まで	正午から午後0時45分まで
G	午前8時45分から午後5時15分まで	正午から午後0時45分まで
H	午前9時から午後5時30分まで	午後0時15分から午後1時まで
I	午前9時30分から午後6時まで	午後0時15分から午後1時まで
J	午前10時から午後6時30分まで	午後0時15分から午後1時まで

附 則

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

(参 考)

新 旧 対 照

名古屋市教育センター処務規則（抜すい）

改 正 案	現 行
<p>(組織)</p> <p>第2条 センターに次の組織を置く。</p> <p>総務課 (略)</p> <p>研修部</p> <p>研究調査部</p> <p>学校情報化支援部</p> <p>事務係</p> <p><u>主査(1)</u></p> <p>教育相談部</p> <p>2 部、課及び係の分掌事務並びに主査の分担事項は、次のとおりとする。</p> <p>総務課 (略)</p> <p>研修部</p> <p>(1) 教職員の研修の実施（研究調査部、<u>学校情報化支援部</u>及び教育相談部の主管に属するものを除く。）に関すること。</p> <p>(2) (略)</p> <p>研究調査部 (略)</p> <p>学校情報化支援部</p> <p>事務係</p> <p>(1)～(2) (略)</p> <p><u>(3) 情報教育等に関する研修の実施に</u></p>	<p>(組織)</p> <p>第2条 センターに次の組織を置く。</p> <p>総務課 (略)</p> <p>研修部</p> <p>研究調査部</p> <p>学校情報化支援部</p> <p>事務係</p> <p>教育相談部</p> <p>2 部、課及び係の分掌事務並びに主査の分担事項は、次のとおりとする。</p> <p>総務課 (略)</p> <p>研修部</p> <p>(1) 教職員の研修の実施（研究調査部及び教育相談部の主管に属するものを除く。）に関すること。</p> <p>(2) (略)</p> <p>研究調査部 (略)</p> <p>学校情報化支援部</p> <p>事務係</p> <p>(1)～(2) (略)</p>

関すること。

(4) (略)

主査（個別最適化された学びに係るICT環境整備の推進）

(1) 個別最適化された学びに係るICT環境整備の推進に関すること。

教育相談部 (略)

(勤務時間の特例等)

第3条の2 業務の性質上、職員の勤務時間及び休暇に関する条例（昭和26年名古屋市条例第48号）第2条第3項、第3条又は第4条第1項及び職員の勤務時間及び休暇に関する条例施行規則（昭和26年名古屋市人事委員会規則第11号。以下「規則」という。）第1条第1項から第4項までの規定によること
ができない再任用短時間勤務職員（地方公務員法（昭和25年法律第261号）第28条の5第1項に規定する短時間勤務の職を占める者をいう。以下同じ。）の範囲並びにその者の勤務時間の割振り、休憩時間及び週休日並びに休憩時間の時限は、別表第1のとおりとする。

(3) (略)

教育相談部 (略)

(勤務時間の特例等)

第3条の2 職員の勤務時間及び休暇に関する条例（昭和26年名古屋市条例第48号）第8条に規定する勤務をさせる見込みがないと教育長が認める職員の勤務時間の割振りは、午前8時45分から午後5時15分まで又は午前9時から午後5時30分までの間において1日7時間45分とし、休憩時間は、45分とし、週休日は、日曜日及び土曜日とする。

2 前項の規定の適用を受ける職員の休憩時間の時限は、勤務時間の割振り
が午前8時45分から午後5時15分までの場合
にあつては正午から午後0時45分までとし、午前9時から午後5時30分
までの場合にあつては午後0時15分か

2 規則第1条第2項の規定の適用を受ける職員の休憩時間の時限は、正午から午後1時までとする。

3 規則第1条第3項の規定の適用を受ける職員の休憩時間の時限は、別表第2に掲げる勤務時間の割振りの区分に応じ、同表に定める休憩時間の時限とする。

4 規則第1条第4項の規定の適用を受ける再任用短時間勤務職員の休憩時間の時限は、その者の勤務時間の割振りが午前8時45分から午後3時30分までの場合にあつては正午から午後0時45分まで、午前9時から午後3時45分までの場合にあつては午後0時15分から午後1時までとする。

ら午後1時までとする。

3 前2項に規定する職員以外の職員の休憩時間の時限は、正午から午後1時までとする。